

本町通り・仲町通り 境界



1 旧金津憲太郎桶店

江戸時代後期に建てられた町家で、桶職人の仕事場や土間のカマドをはじめ、懐かしい暮らしの道具がたくさん残っています。茶の間の吹抜け、古い状態を良く残している水回りなど見所も凝縮されています。新潟県立歴史博物館に標準的な高田の町家として模型が飾られているほど、貴重な現存建物です。見学は要予約。

所 仲町4丁目6-7
☎ 025-520-5629 (上越市文化振興課)

2 町会所跡

町会所とは、江戸時代、町民から選ばれた町年寄が町政をとる役所であり、高田藩では、初めは数名の町年寄が順番で自宅を町会所にあてていましたが、延享元年(1744)、ここに独立の建物が設けられました。その後明治に至っても、高田町役場、高田市役所がこの場所に置かれ、行政の中心地でした。



上越市指定文化財

3 高田まちかど交流館

高田まちかど交流館(旧第四銀行高田支店)は、昭和6年(1931)に第百三十九銀行本店として建てられた、当時では珍しい鉄筋コンクリート造の建物です。ホールは、貸館としてイベント等に利用できるほか、貸館がない時は、無料で見学・休憩できます。展示室では、建物の特徴や銀行の歴史、建築当時の高田のまちの歴史などを知ることができます。

所 本町3丁目3-2
☎ 025-520-5629 (上越市文化振興課)
営 9:00~18:00
(ホールを占用して利用する場合は22時まで利用可)
休 毎月第2水曜日、年末年始
¥ 入館・見学は無料

コラム ぎょうがわ 儀明川にかかる「橋」

本町と仲町の間を一直線に南から北へ流れる儀明川は、高田城築城の際に掘られたもので、雪国・高田において、冬の雪捨て場として利用されていました。儀明川には、現在、高田地区だけで20本の橋が架かり、高田に住む人々の生活を支えています。



4 札の辻

江戸時代、掟・禁令などを領民に知らせるために、人目を引く十字路の角等に高札が立てられ、高田城下では北国街道の高田別院入口の辻がそれにあたりました。また、この辻は、高田から各地への里程の基点にもなっていました。

5 春日神社

高田城の裏鬼門に位置し、高田城築城の1年前に創建され、お城の築城と城下のまちづくりを見守りました。以降、日本三大夜桜で有名な高田城の守り神として親しまれています。また、上杉謙信公由來の「なんぼいさん(南方山)」(妙高山信仰登山)が有名です(毎年7月22・23日)。

所 本町1丁目6-22



コラム お馬出しの辻

江戸時代、「お馬出しの辻」の辺りは、高田城と城下を結ぶお城の玄関口として、最も賑わったまちの中心街でした。高田開府以来、このお馬出しの辻には毎年7月になるとお旅所が建設され、直江津今町の八坂神社から神様を乗せた神輿をお迎えし、代々の高田城主のご加護の元に「高田祇園祭」が執り行われました。



お旅所

